



## 《 北米産大豆 》

### 11 / 12年世界大豆生産予測、下方修正

アメリカ農務省が10月12日に発表した11 / 12年度の世界の大豆生産高予測は、前回比0.2%増減の2億5,860万トンに下方修正されました。これは、インドの生産量が前回から増加していますが、米国、カナダで減少しているためです。

また、世界の大豆需給予測は生産高が前回から減少しているものの、期初在庫が増加したほか、国内搾油など需要も減少したことにより、期末在庫は同0.7%増の6,301万トンに上方修正されました。

### 米主要大豆生産州、収穫進む

アメリカ農務省が10月24日発表した米国大豆収穫率は、主要18州平均で80%(前年91%、平年71%)と平年値を9ポイント上回っています。

現在、収穫の最終段階ではありますが、多くの州が天候に恵まれ、収穫作業は大幅に進んでいます。しかしながら、インディアナ州とオハイオ州は天候に恵まれず、土壌の水分保持率が減少しないことなどから、収穫作業は大幅に遅延しており、今後の天候次第では大豆の品質悪化や単収減を招く可能性があるとされます。

### 11年産カナダ産大豆、オンタリオ州で収穫遅れ気味

海外の大豆サプライヤーによると、カナダ・オンタリオ州における大豆の収穫作業は、春先の天候事情によって、作付けが例年よりも遅れたことから、遅れ気味となっています。品種によっては、収穫作業が終盤に差し掛かっているものもありますが、10月31日時点で、まだ収穫作業が始まっていないものもあり、全体的に見ると10月21日時点での収穫率は50%に達していない模様です。

収穫がまだ終わっていない農地での本格的な収穫作業は、例年よりも約2週間遅れて、11月にずれこむとの見解です。

## 《 トピックス 》

去る10 / 8 ~ 10 / 11 にかけて、弊社の浅利が、中国の大豆選別工場の視察に行きました。今回は数ヶ所の選別工場を視察しており、今後、より一層安心・安全で品質の良い大豆を皆様にお届けしていきたいと思っております。



## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1 - 4 - 7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



## 《 国産大豆 》

### 23年産作付面積

10/26に農林水産省から公表された平成23年産大豆の作付面積は、13万6,700haとなり、前年より1,000ha減少しました。(前年比99%)

これは、農業者戸別所得補償制度の本格実施に伴い、北海道、東海、九州などで増加したものの、東日本大震災の影響で、東北、関東などで、減少したためです。

増加面積が多い地域は、北海道(2,000ha増加の26,400ha) 佐賀県(770ha増加の8,390ha) 三重県(380ha増加の4,220ha) 滋賀県(380ha増加の5,880ha)となっております。

逆に、減少面積が多い県は、宮城県(1,380ha減少の9,720ha) 栃木県(920ha減少の3,440ha) 福島県(780ha減少の2,100ha)となっております。

### 23年産大豆に関する放射性物質検査

23年産大豆の放射性物質検査は、農林水産省からの指示にもとずいて、北関東、新潟、東北各自治体で、検査が始まりました。今のところ、群馬県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、山形県、秋田県、岩手県、青森県で、調査結果の公表が始まり、暫定規制値を超える報告はされていない状況です。

\* 穀類(大豆含む)の暫定規制値 = 放射性セシウム濃度500Bq/kg

### 23年産大豆入札

23年産大豆の入札は、11/30に第1回目の入札が行われる予定です。上場される大豆産地、数量は未定です。

## 《 大豆生育状況 》

### 23年産青森おおすず

弊社の契約栽培先であるつがる藤崎農協のおおすずの様子です。10/21現在、紫斑病は少ないものの、虫害の発生が散見されます。収穫は、10/末からスタートの予定です。



## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>